

人口減少社会への対応

人口が減っても住み良い環境を守る。

問 人口減少を見据えた空き家活用促進事業が始まる。中心市街地の空き家の活用を期待するが、長田区では、現状のままでは活用が難しい物件も多い。特に区北部に多く見られる高度経済成長期に開発された地区は、急斜面や谷間など立地や接道条件が悪く再活用されにくい住宅が多い。取り壊し後に現行法では再建築不可能な場合もあり、建替えや除却は今後も進まないのではないかと。そこで活用不可能な住宅は市に譲渡してもらい、場合によっては市が空き家を撤去し、防災空地としての整備や、道路の拡幅に使ったり、緑地として活用してはどうか。連鎖的に空き家が増えることを防止するため、積極的に環境を改善する取り組みが必要と考えるが、どうか。

答 (久元市長) 山麓部において、同様の課題を抱える東垂水地区や兵庫北部地区では、地元のみならず協議会からの提案を受け、生活道路のあり方の検討や、「まちなか防災空地」の整備など防災性の向上と環境改善を進めている。しかし、特に課題の多い所では、改善が困難で、地元と協議しながら模索しているところだ。平成26年度は長田区内の空き家・空き地の実態を調査中であり、個別の活用可能な中古住宅については、平成27年度からの空き家活用促進事業で貸し手の発掘、借り手のニーズの把握に努めたい。また、接道条件等を改善して新たな住民を呼び込むことは地形的な制約から課題が多いが、他地区も参考に、住環境の改善の進め方について研究していきたい。

商店街・小売市場の活性化

問 商店街・小売市場は単なる商品の提供の場ではなく、住民の交流や憩いの場であり、地域の文化の継承、安全などに様々に寄与している。そうした観点から、産業振興局においても活性化を支援しているが、地域の顔を守る・地域経済の活性化するという目的意識が十分ではない例もある。例えば、今後予定され

地域の資産、商店街・市場を応援!

ているプレミアム商品券(一万二千円分の商品券を一万円で販売。市内の登録店で使える)は、地元に着した小売店で消費してもらえる取り組みにすぎない。中小企業や商店街加盟店舗などの手数料負担を軽くする配慮があることだが消費者には差が無く、スーパーやコンビニ等での利用が多くなってしまっているのではないかと。地元の小売店と全国チェーンではプレミアムに差をつけるなど、地域経済に資する方法を検討すべきではないか。

答 (岡口副市長) プレミアム付商品券は国の交付金事業として消費喚起を第一の目的とし、西区、北区を含め市内全域を対象とする。一方で中小の店舗の少額商品にも対応しやすいよう千円券に五百円券を組み合わせた券種にする。また、商店街や小売市場でより多く使ってもらえるよう、商店街・小売市場が商品券の利用期間にこだわりの商品のPRや「販促イベント」「商店街ツアー」等を実施する場合には事業費補助を行う。事業広報の中で、商店街・小売市場の地域コミュニティの担い手としての役割などの視点を入れながら取り組みたい。その他販売所を商店街・小売市場の近くに置き、地元の商店街・小売市場に足を運んでもらいたいと考えている。提案のプレミアムに差をつけることだが、大小の規模の店舗が混在するところもあり、消費者に混乱をきたすという課題もある。どのような工夫ができるか、更に詰めていきたい。

新長田南再開発の課題解決

問 新長田南再開発事業において、国道より南側では、くまびかりボーンプロジェクトによるアスタの再整備に向けたマスタープランの検討が進んでおり、3月には商業活性化モデル事業者による「アニメストリート」のオープンなど商業ゾーンの活性化に向けて前進しているが、これまで現状を検証した中で挙げられたハード環境の課題解決については不透明なまま。検証を行ったコンサルによって26年度当初に示された提案によると、「エントランスゲートのインパクトがなく、期待感が持たない」「広く計画された道路はにぎわいが創出さ

新長田南再開発ビルの本気の再整備を!

れにくい「ファサードの統一感・デザイン計画等が成されていない」等具体的に課題が指摘されているので、早期に解決するべきだ。また、こうしたハード環境の改善を実現するには神戸市以外の権利者の出資も必要だが、個人商店が多い現状では厳しい。そこで、より資金力があり、安定して入居してもらえ、事業者の誘致が今後必要だが、市保留床、権利床の一体運用を通じ、床をリースする努力もなされてはいるが、本来の目的である売却にむけて、努力をするべきと考えるが、見解を伺いたい。

答 (鳥居副市長) 抽出された課題が解決できていない現状では、床の売却や大手資本の進出が困難な状況だ。現在まちづくりマスタープランの策定を地域と共に進めているが、ハード環境の整備も重要な課題だ。マスタープランの具体化に向け、本年3月にオープンする「神戸アニメストリート」でも、共用部の空間演出を行い、賑わい創出を図る。27年度はマスタープランに基づき、テーマ性を持たせたテナント配置や共用部の演出等のハード環境の整備を含めたモデル事業として、一部の市床権利床の一体運用を図る事業を予定している。今後一体運用を全ての館に拡大し、地区の資産価値向上を図りたい。この度、これら一体運用を地元が主体的に担うことを目指し、地元商業組織が100%出資する「株式会社くまびかり」が設立された。今後は、株式会社くまびかりが権利集約の受け皿となり、資金力のある事業者の参画も視野に入れ、全体テナント再配置や共用部活用など一体運用の実現による街の活性化を図り、最終的には市床の売却も可能となるよう努力していきたい。



議員による政策条例

「神戸市みんなの手話言語条例」を制定しました

民主こうべ、公明、自民神戸、自民の4会派で「神戸市みんなの手話言語条例」を議員提案し、可決され、4月より施行されます。「手話は言語であること」を広く普及させ、市民みんなで手話を日常的に使用できる環境の向上を目指す条例です。



手話を使って記者発表

【本条例の特徴】

- 手話言語条例として政令指定都市で初めて、また議員提案では全国初
●施策実施状況について、毎年度議会への報告を義務付け
●学校教育での手話への理解の促進を盛り込んだ
●ろう者、手話通訳者その他関係者の意見を聴くための協議の場の設置を義務付け

「神戸の未来都市創造に向けた提言書」を提出

三宮周辺・ウォーターフロント地区における都心の再生など、新たな時代の神戸のまちづくりに関する必要な事項について調査することを目的として設置した「神戸市会 未来都市創造に関する特別委員会」は、「神戸の未来都市創造に向けた提言書」をとりまとめ、市長に提出いたしました。

市民報告会を開催します

- 日時: 5月11日(月) 18時～
■場所: 市会本会議場(市役所1号館29階) 190人(先着順)
■主催: 未来都市創造に関する特別委員会
■内容: 委員会活動報告とパネルディスカッション



A collage of images and text celebrating Machiko's 4-year term. It includes photos of her at a marathon, a political meeting, a community activity, and a lecture. Text highlights her achievements: '2nd runner-up at Kobe Marathon', 'observing the 'Nadeshiko no Kai'', 'volunteering', 'serving as political committee chair for 2 terms', 'lecturing on drug prevention for middle school students', and 'researching on regional inclusion for the social welfare committee chair'. A central banner reads 'Machiko's 4 years'.

平井まち子 自由民主党 神戸市会議員



□1976年神戸市長田区生まれ(38歳)
□池田小、西代中、長田高校、神戸大学(文学部史学科)卒業 □神戸電子専門学校を修了、市内の広告代理店に勤務、タウン誌の制作などに携る □2005年10月の神戸市会補欠選挙にて10,436票をいただき初当選 □2007年市会議員選挙で5,413票をいただくも10票差で惜しくも次点 □2011年市会議員選挙で5,525票をいただき再選

- 役職
●自由民主党神戸市会議員団 政調会長
●総務財政委員会 委員
●大都市税財政に関する特別委員会 理事
●真珠神戸市会議員懇談会 事務局長
●INAC神戸を応援する神戸市会議員の会 会長
地域活動
●長田神社氏子会 参与
●神戸金型工業会 相談役
●長田鮎商組合 顧問
●兵庫県盲導犬協会 顧問
●池田自治会顧問

- 自由民主党神戸市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 市役所1号館28階
電話 078-322-5846 Fax.078-322-6164
■長田区支部 平井まち子事務所
〒653-0843 神戸市長田区御屋敷通6-1-11
電話&Fax. 078-643-0647(月～金 9時～17時)
eメール machiko.h@earth.ocn.ne.jp

神戸市総合コールセンター 神戸市の総合的な窓口です。ご利用下さい。
年中無休受付中(8:00～21:00) ☎078-333-3330

自由民主党兵庫県第二選挙区支部では党員を募集しています